



第 25 番 蛤蜊 觀音(こうり)

俗に、はまぐり觀音といわれている。
伝説では、唐の文宋皇帝が蛤を
食べようとした時、殻が開かないので、
香を焚いて祈禱すると、觀音様が
現れたという。皇帝の平素からの仏への
帰依心が、觀音の應現となつたのである。